

科目名		理学療法評価学実習Ⅱ		授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
<ul style="list-style-type: none"> 臨床評価実習Ⅱに必要な知識、技術および思考能力を身につける。 トップダウン形式による障害増の把握が出来るようになる。 							
〔授業全体の内容の概要〕							
<ul style="list-style-type: none"> 実習室にて行う。初めの30分を目安に、学生同士がペアとなり、実際の理学療法場面を想定しながら検査測定手技を強化する。 							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①目の前の患者様に対し、検査測定をスムーズに行えるようになる。							
<ul style="list-style-type: none"> 動作分析から問題点に関する仮説が想起できるようになる。 統合と解釈が出来るようになる。 							
回数	講義内容						
1	概論						
2	実習 筋・骨格系機能障害を呈する症例の、問題点に関する仮説を想起する①						
3	実習 筋・骨格系機能障害を呈する症例の、問題点に関する仮説を想起する②						
4	疾患による評価項目・実習						
5	疾患による評価項目・実習						
6	疾患による評価項目・実習						
7	疾患による評価項目・実習						
8	疾患による評価項目・実習						
9	疾患による評価項目・実習						
10	疾患による評価項目・実習						
11	疾患による評価項目・実習						
12	疾患による評価項目・実習						
13	疾患による評価項目・実習						
14	疾患による評価項目・実習						
15	疾患による評価項目・実習						
16	疾患による評価項目・実習						
17	疾患による評価項目・実習						
18	疾患による評価項目・実習						
19	疾患による評価項目・実習						
20	疾患による評価項目・実習						
21	疾患による評価項目・実習						
22	疾患による評価項目・実習						
23	疾患による評価項目・実習						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
テキストは使用せず、適宜資料を配布する		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験によって判定する
